

事務事業名		私立幼稚園就園奨励費補助事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	保育課
	政策	2 安心して子育てのできるまちづくり					担当係	事業係		担当課長名	川俣 浩
	施策	2 子育てと仕事の両立支援					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4 就学前教育に対する支援					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	12414	一般	10	1	2	私立幼稚園就園奨励費補助事業					
事業計画	単年度のみ		事業期間	47年度～ 年度		根拠法令等	幼稚園就園奨励費補助金交付要綱・佐野市私立幼稚園就園奨励費補助金等交付要綱				
						市単独事業・国県補助事業		国県補助事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		支援事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
私立幼稚園の設置者が保育料又は入園料の減額又は免除を行う場合において、設置者に対して経費の一部を補助することにより、保護者の経済的負担を軽減する(国庫補助対象事業及び市単独事業による)		園児の保護者の市民税課税額を個々に調査し、その所得階層に応じて入園料又は保育料の一部を設置者に対し補助する。						
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		補助金総額	千円	176,397	217,198	136,404	136,404	136,404

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市に住民登録がある私立幼稚園児の保護者。		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		補助金交付園児数	人	1,849	1,895	1,125	1,125	1,125

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的 幼児教育振興に係る保護者の経済的負担を軽減する。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		補助金交付園児数/私立幼稚園在園児数	%	99.2	99.8	99.0	99.0	99.0
		補助金総額/補助金交付園児数	円	95,402	114,616	121,248	121,248	121,248

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

① 安定した運営がなされている。 ② 経済的な負担感が軽減されている。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		私立幼稚園児の充足率	%	66.6	66.4	67.2	67.3	67.4
		幼児人口(3～5歳)に対する私立幼稚園の就園率	%	60.1	59.3	60.3	60.4	60.5

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円	42,522	53,334	35,253	35,253	35,253	
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	134,042	164,036	101,277	101,277	101,277	
	事業費計(A)	千円	176,564	217,370	136,530	136,530	136,530	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			委託料	167	委託料	172	委託料	126
			補助金	176,397	補助金	217,198	補助金	136,404
正職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
のべ業務時間	時間	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250		
人件費計(B)	千円	4,864	4,926	4,926	4,926	4,926		
トータルコスト(A)+(B)	千円	181,428	222,296	141,456	141,456	141,456		

事務事業名	私立幼稚園就園奨励費補助事業	担当部	こども福祉部	担当課	保育課	担当係	事業係
-------	----------------	-----	--------	-----	-----	-----	-----

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	文部科学省が「教育を受ける権利」を考慮し、幼稚園での幼児教育振興のため開始。同じく、国庫対象外の園児の保護者に対して、市単独補助事業も開始。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国の補助単価は増額しているが、市町村への補助率は減少している。近年、幼児教育の無償化へ向けた取組みの中で、多子軽減の負担軽減が図られている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	補助額の増額要望、第3子の対象者の拡充

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	保護者の負担軽減を図り、安心して子育てができる環境を作ることとしている。
	結びついている		
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	私立幼稚園は学校教育法に基づき設置されており、公的な性質をもつ機関であり、市の政策である「安心して子育てできるまちづくり」の幼児教育の一端を担っている。
市が行わなければならない			
③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	子育てをしている保護者を対象としており、保育料及び入園料の一部を補助することは経済的負担軽減となるため妥当である。	
妥当である			
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	国で定める補助事業のため、見直す余地がない。
	成果向上余地がない		
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業名 東日本大震災に伴う被災幼児就園支援事業 補助制度は同様であるが、東日本大震災の被災者が対象であり、統合できない。
類似事務事業はあるが、統合・連携できない			
*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	国が主導する補助事業であり、市単独での事業費削減はできない。私立幼稚園補助金関係の事務を1人で担当することにより、複数の事業に関連して事務を進めている。
	削減の余地はない		
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	園児の保護者は保育料を負担しており、その補助制度であることから、そこに受益者負担の考えはなじまない。
	受益者負担を求める必要がない		
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	国の補助制度が廃止された場合、終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性	(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					